

きょうと女性農業委員の会だより

南丹ブロック編集版

あゆみ

Vol.6



今回は、
亀岡市・南丹市・京丹波町で
活躍するみなさんの声
をお届けします！



黒大豆枝豆を手にニコリ！ 女性農業委員

京丹波町



～『黒大豆枝豆』町内各地で大盛況～

収穫時期が約1ヶ月と季節限定の黒大豆枝豆が最盛期を迎えています。

丹波高原の豊かな恵みのもと、農家の皆さんが心を込め、大切に栽培しました。大きな莢には、2粒か3粒のはちきれんばかりの実が詰まっています、1本の木にたわわに実っています。

京丹波産の黒大豆枝豆は、大粒で深みと甘みがあり、一度食べたら忘れられない味とリピートが多く、

町内各地の沿道に開設された直売所は、買い求めに
来られる方々で賑わっています。期間中は、京丹波
町HPでも「京丹波黒豆 枝豆街道マップ2015」
がアップされ、直売所の場所を知ることができます。
また、町内4つの「道の駅」でも販売しています。

ぜひ、一度ご自身の目と舌でお確かめください。
女性委員一同のお勧めです。

こんな活動も
しています



『京丹波町・食の祭典』に出展

女性農業委員が中心となって「京丹波町・食の祭典」に出展しました。町内で収穫されたお米「コシヒカリ」、「きぬ娘」、「つや姫」の3品種の銘柄をふせ、来場者に提供し食べ比べをした後、お米に関するアンケートを実施。

食育や農業委員会活動に関するパネル展示や農業相談も行いました。

記事制作：京丹波町／谷委員・浅井委員・辻委員・児玉委員

亀岡市



～「アグリフェスタ2015」に参加～

亀岡市では、去る10月12日に「アグリフェスタ2015」が市の農業公園で開催され、来場者が5,000人と大規模なものになりました。市制60周年記念事業を兼ねた今回は、各地域の直売所の新鮮野菜の軽トラ市、芋掘りや培養土での野菜の苗植え、丸太切り、枝豆のもぎ取りなど、自然とのふれあいや、収穫の喜びを味わえるイベントとなりました

多くの親子連れで盛り上がりました



多くの親子連れが来場し、亀岡ならではの農と食の体験と交流を深めた1日となりました。

私たちは、生産と加工に携わっていますが、消費者とふれあう中で、農業委員として共に頑張っていると思いました。

記事制作：亀岡市／栗山委員・中村委員・人見委員・眞継委員

南丹市

～「ムラガーレ食堂」オープン～

南丹市美山町では、高齢化・少子化で寂しくなった地域を何とかしたいと、若者有志が集まって食堂を立ち上げました。村に賑わいと元気をもたらすように、群がるように人に集まってもらいたいとの由来から「ムラガーレ食堂」と命名されました。地元産（美山産）の食材にこだわったメニュー作りに取り組んでいます。

期間限定 OPEN のため、年内の営業は 11 月 29 日までということで、非常に残念です。隣接の野菜の直売所は、現在 70～80 代の方々に支えられています。地域を盛り上げようと頑張っている若者



賑わいをみせるムラガーレ食堂

が農業にも関心を持って、田んぼや畑を守ってくださることを期待しています。

記事制作：南丹市／谷本委員



黒枝豆のもぎ取り風景

～食育活動を行っています！～

私は、殿田小学校の 3、4、5 年生を対象に、食育活動を行っています。

3、4 年生には 6 月 22 日に黒大豆枝豆の種まきをしてもらい、5 年生には 9 月 29 日に日吉特産の壬生菜の種まきをしてもらいました。

収穫はどの学年も 10 月 27 日に行われました。5 年生は、壬生菜を自宅に持ち帰ったり、給食として使用して頂きました。3、4 年生には一部の黒大豆枝豆を枝豆の状態を持ち帰って頂きました。残りは黒大豆になるまで観察され、黒豆の一生の学習をされる予定です。

記事制作：南丹市／吉田委員



事務局からのお知らせ

～年商 10 億円の直売所を視察～

本会は、10 月 8 日に滋賀県守山市の「ファーマーズマーケットおうみんち」で研修交流会を開催しました。おうみ富士農協の川端部長さん、バイキングレストランリーダーの今西さんにお話を聞き、レストランと加工・直売施設を見学しました。年間売上 10 億円に成長する苦労話や秘訣、食育、市民農園の話などを勉強しました。



有益な研修会となりました

その後、「会報あゆみ」2 巡目を担当する順番を決めました。